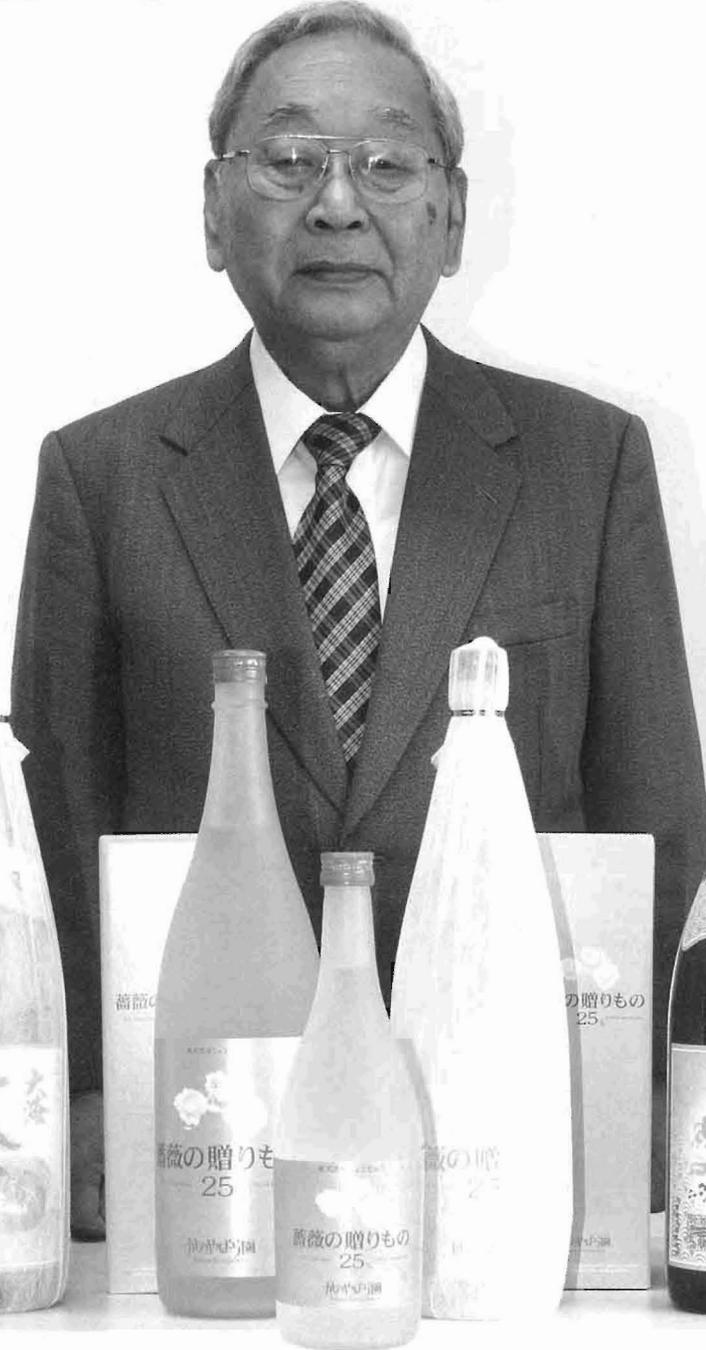


KISC

財団法人 かがしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center



創業や経営革新に
取り組むあなたを応援します。

CONTENTS

- 02 この人に聞く
- 03 女性経営者登場
- 04 2009 かがしま食と健康フォーラム
- 06 九州地方発明表彰 中小企業庁長官奨励賞受賞
- 07 第57回鹿児島県発明くふう展 鹿児島県知事賞受賞
- 08 実践！ IT活用
- 10 ベンチャープラザコーナー⁶⁴
- 11 研究開発の現場
- 12 企業経営に“知的財産”を有効にご活用ください
- 13 活用ください！産学官連携課
- 14 受発注情報
- 15 Information

大海酒造協業組合
代表理事 北山 幸男 氏

12月号

December 2009

この人に聞く!



「商工業者のニーズに的確に対応し
地域経済の発展に貢献する商工会」を目指して

鹿児島県商工会連合会
会長 森 義久

中小企業支援団体としての商工会の機能強化

これまで商工会は、中小・小規模企業に密着した巡回指導を中心とする経営サポートで「地域密着型組織」、「気兼ねない相談相手」という組織の強みを発揮してきました。

また、経営指導員をはじめとする職員の巡回指導を通じ、中小・小規模企業で働いている地域住民との直接的な繋がりを持ち、更には生活者の目線と実感を大切にする女性部、地域の未来を切り拓こうとする青年部等による地域興し・伝統文化継承・各種奉仕活動・防犯防災の取り組み等を通じ、地域との一体性を保ってきています。

そうした中、近年の行政合併の進展に伴い地域も大きく変わってきており、商工会も合併等を通じた組織の変革が求められています。

鹿児島県下の商工会においては、行政合併地区を基本に商工会合併も進み、84あった商工会が本年4月には51商工会に再編され、組織の機能強化や業務効率化等に努めています。また、平成18年度からは、創業・経営革新支援などのより高度な小規模事業支援を行うため、県下10ブロックに広域指導センターを置き強力な支援態勢で取り組んでいます。

更に、昨年度は商工会改革に向けての行動指針である「商工会活性化指針」を策定し、この指針に基づき全商工会が役員一丸となった取り組みを進めています。この活性化指針策定に至った背景は、一変してしまった地域小規模事業者の経営環境下、真に小規模事業者のニーズに添った経営を支え伸ばすための取り組みへと変革しようとするものです。活性化指針では次の事項を実現するための具体的アクションプランを示し、行動を開始しているところです。

- ① 地域に密着した商工会の強みである巡回指導の徹底
- ② 経営指導の充実と高度化
- ③ 職員の経営支援業務専従体制の確立
- ④ 役員員の意識改革・職員の能力強化と事務局の機能強化
- ⑤ 財政の安定化

新たな地域産業創出への取り組みで地域経済を再生

都市部と郡部の格差拡大や少子高齢化により多くの郡部が疲弊し、地域コミュニティの維持が危惧される地域が急激に増えてきています。本県の地域経済において基幹的役割を果たしてきた公共工事の縮減等により雇用の場が失われ、地域経済の牽引役が不在となった今、新たな地域産業の創出が喫緊の課題となっております。

中小企業政策は、かつての中小企業層全体の底上げから大転換し、創業・経営革新の促進、農商工連携、地域資源活用、事業承継など、言わば新たな取り組みにチャレンジするヤル気を持った企業を支える方向に向かっていきます。

商工会は、目標としている「商工業者のニーズに的確に対応し、地域経済の発展に貢献する商工会」として、全ての地区内の会員等に対する従来の支援活動は当然のこととして、これら新たな中小企業施策にも積極的に対応しようとしているところです。

今後も商工会は地域に密着した商工会のネットワークをフルに生かし、新たな事業展開を目指す企業の発掘や具体的支援を進めて参りますので、より一層の積極的活用をお願いいたします。

女性経営者登場!

病と向き合って

苦しんだ末に・・・



株式会社 奄美のしずく
代表取締役 安田トシエ

奄美市名瀬佐大熊町4-11
TEL : 0997-52-8245
FAX : 0997-52-8244
E-mail: amaminoshizuku.co.jp
http:// www.amaminoshizuku. co.jp/

先人の知恵「島養生」

私の生まれ故郷「奄美大島」は、青い海、緑の山々に囲まれた自然豊かな「島」です。目を瞑ると浮かぶその自然、風土とともに、奄美大島には、「先人たちの知恵」と「生きる力」が伝わっています。

私の幼少期、集落を結ぶ路線は、現在のようにスムーズに走れる大きな道路は無く、隣の集落へ通うにしても1時間以上かかり、医師のいる名瀬の診療所まで行くには、険しい山道をまる一日がかかりという状況でした。往診等診ていただいたとしても、お金がかかることから、大きな病気でもしないと診ていただくことなどできない家庭がほとんどでした。

そういった環境のなか、戦前戦後の世を渡ってきた島の人々の生きていく力、知恵の「原点」こそ、原生林に育つ野草（薬草）等を利用した自然治療なのでした。

島の人々は、体調に不安を感じた時、野草を煎じ飲み、野草を和えたり炒めたり精のつくものを摂ることで、その日の不調はその日で整え、大きな病気にしない。古来より、発酵食品を保存食とし、本土とは切り離された風土のなか、「島養生」と言う言葉で語られてきました。

【奄美のしずく】



先人の知恵を商品に

20年ほど前、当時、私自身体が弱く、ひどい頭痛や吐き気、それがはじまると三日三晩は水一滴受け付けない日々が続き、入院を繰り返して体重は38kgまで落ち込んでいました。夫に連れられ奄美の山々の山野草（薬草）をポールに漬け込み作ったエキス。自身のため、家族のためのエキス。あれから20年試行錯誤を繰り返し、今の「奄美のしずく」となりました。

当時、口伝えにより一人の癌患者さんのもとに、「奄美のしずく」が届けられたのが始まりで、会社設立前には、二百人あまりのユーザーに支えられるようになっていました。

そこで、各大学の先生方のご指導もあり「株式会社奄美のしずく」を平成18年4月に設立いたしました。



「奄美のしずく」の原料となる「フジバカマ」と「ビナンカズラの実」

奄美大島の「先人の知恵」を継承する、「株式会社奄美のしずく」として商標特許及び製造利用特許特願、平成19年には、財団法人かごしま産業支援センターの「かごしま起業化応援プログラム」に採択され、さらに、「ベンチャープラザ鹿児島（二水会）」での発表の機会をいただきました。現在、益々製品作りに力を入れ、お客様に納得いただける商品を提供することに、社員一同全力で取り組んでいます。

これからの商品づくり

「医食同源」は、当社の理念に欠かすことができません。今後も素材にこだわり、次世代に負の遺産を残さない、鹿児島島の誇りを感じさせる商品・サービスを提供し続けたいと思っています。

2009 かがしま 食と健康フォーラム

平成21年11月14日(土)、鹿児島県自治会館において、「かがしま産業おこしフェア」の関連行事として、「かがしま食と健康フォーラム2009」を開催しました。

このフォーラムは、かがしま食と健康フォーラム委員会(委員長 藤井信 鹿児島大学農学部教授)と(財)かがしま産業支援センターとの共催で、「食と健康」に対する消費者や事業者の関心が高まる中で、鹿児島島の次代の産業を担う



吉留理事長あいさつ

新たなバイオ・食品産業群の創出を目的に、大学や企業の研究者が取り組んでいる先端バイオ・食品技術の研究事例などを紹介していただきました。

鹿児島大学、県外企業1社、県内企業1社による3テーマの講演と10企業によるパネル発表や新製品の試飲・試食が行われ、多くの参加者でにぎわいました。

講演内容

「奄美黒糖もろみエキスからメラニン抑制・美白素材の開発」

鹿児島大学農学部 教授

藤井 信 氏

奄美大島の特産品である黒糖焼酎の焼酎粕には原料由来のポリフェノールが豊富に含まれ、また、黒糖焼酎製造の副生成物のもろみから抽出した奄美黒糖もろみエキスにおいても、天然のポリフェノールなどを豊富に含み、強い抗酸化機能を持つことが知られている。このことから、ポリフェノールのメラニン生成抑制効果に着目し、化粧品としての利用を考えた研究を行った。動物実験等の結果、黒糖焼酎もろみポリフェ

ノールは、①紫外線照射による色素沈着を抑制する②紫外線照射後のメラニン形成後の色素沈着減少効果がある③メラニン形成後の色素沈着の減少を促進する④黒糖焼酎もろみポリフェノールの摂取によっても、メラニン形成を抑えることなどが確認された。これらの結果をもとに、(株)アマミフアツション研究所が日焼け防止(メラニン抑制)化粧品を開発した。



藤井教授の講演

「新開発の流動食(在宅介護等食品)について」

(株)大塚製薬工場メディカルフーズ事業部学術・PMMグループ 学術担当課長

戎 五郎 氏



疾病の発生要因の一つとして食事、運動不足などによる生活習慣要因がある。食生活習慣は、各人の嗜好やライフスタイルの変化でなかなか直せない。食品の機能性は、1次機能・生命維持のための栄養面での働き、2次機能・食事を楽しむという味覚・感覚面での働き、3次機能・生体の生理機能の変調を修復する働きに分けられる。この中で3次機能が効率よく現れるように設計した食品が、一般に「機能性食品」と呼ばれる。また、機能性食品の中で、ヒトにおける有効性・安全性・適切な摂取量を個々の食品について科学的に評価し、厚生労働大臣がその表示を認めたものが「特定保健用食品」である。病者の栄養補給では、通常、腸管機能が低下している患者さんには消化態栄養剤が用いられ、機能の回復に合わせて

半消化態栄養剤、流動食、ミキサー食と、より食事に近いものを用いられる。食べやすい物性としては、①密度が均一であること、②適度な粘度があり、バラバラになりにくいこと、③口腔や咽頭を通過するとき変形しやすいこと、④べたつかず、粘膜にくっつきにくいことなどの条件を満たすことが必要であるとされている。

「薩摩の農文化を世界へ」
日本有機株式会社

代表取締役会長
川崎 暢義 氏

日本有機(株)には、有機資材事業部、薩摩鴨事業部、健康食品事業部、海外事業兼口ハス推進事業部、研究開発室がある。この中で、薩摩鴨事業部は、鹿児島大学農学部萬田研究室が、中国在来種



を5年半かけて育種選抜した新種の鴨を、孵化・雛の出荷・飼育・処理・加工・鴨肉の販売までの一貫体制を行っている。健康食品事業部は、倉敷芸術科学大学の須見洋行教授と共同で、当社の薩摩鴨で栽培した無農薬玄米の黒酢もろみを使用した納豆とにんにくのサプリメントを開発した。また、鹿児島県農産物加工研究指導センターと共同でさつまいも澱粉麺と鴨のスープを用いたさつまいも冷麺を開発した。それぞれ製品として販売している。研究開発室では、鹿児島大学農学部坂田研究室からトルコギキョウの花色遺伝型交配法の技術移転を受け、トルコギキョウ種子・苗・切り花生産・販売を行うようになった。今年度は、伊仙町における「さつま黒野菜」による町興しに協力している。「さつま黒野菜」とは、鹿児島県で生産している黒色・紫色・赤色の野菜・果実の中で高機能成分を有するものである。

新商品開発企業の

パネル発表

パネル発表では、講演で述べられた試作品や商品の他に、かごしま産業支援センターの研究開発助成事業に採択され現在も研究開発中の試作品や、国の支援制度から「地域資源」の認定を受けた企業で食品に関するテーマが3件、

「農商工連携」の認定を受けた企業から食品に関するテーマが3件の合計10テーマのパネル発表がありました。各企業のブースでは、新商品等の試飲や試食が行われ、参加者は、企業担当者や活発な意見交換などを行っていました。パネル発表のテーマは、次のとおりです。

【地域資源活用支援認定企業】

「ばら焼酎」の開発・製造

大海酒造協業組合

「芋焼酎もろみ中の機能性成分を生かした食品素材開発」

西酒造(株)

「汁液分離システムを取り入れた、さつまいもの総合食材化と販路開拓」

(株)ジッピーフーズ

【農商工等連携支援認定企業】
「芋麹用」乾燥サツマイモダイス」や「大隅の農産物を活用した乾燥粉末」の開発と販路開拓

(株)オキス

「薩摩熟成黒にんにく」にんにくの王様」を主体としたオリジナル製品の開発と販路開拓

(有)渡辺商店

「かごしま黒豚と有機農法で生産した「有畜農産物」の販路開拓」

(有)霧島高原ロイヤルポーク

【かごしま産業支援センター

研究開発助成事業採択企業】

「焼酎粕粉末とサツマイモ葉茎を利用した携帯機能性食品の開発」

濱田酒造(株)





株式会社エルム

代表取締役 宮原 隆和

所在地：

〒897-0002

南さつま市加世田武田15248番地11

TEL：0993-53-6930

URL：http://www.elm.co.jp

地方発明表彰は、実施されている優れた技術やデザインを生み出した技術者・研究開発者を顕彰するもので、その発明が地域産業にいかに関与しているかという観点から、全国を8地方(北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)に分けて実施しています。

平成21年度九州地方発明表彰中小企業庁長官奨励賞に、南さつま市にある株式会社エルムで考案された「光ディスク修復装置」が選ばれました。

今回、その高い技術力が評価され、中小企業庁長官奨励賞を受賞した「光ディスク修復装置」ですが、これまでも、「第6回かごしま産業技術賞大賞」や「第2回ものづくり日本大賞優秀賞」などを受賞しています。

また、自動修復機については、世界の市場を概ね独占しており、現在、世界34カ国で毎日20万枚のディスクが修理されています。特許は日本だけでなく米、EUなど、海外諸国の特許も複数取得しています。

光ディスク修復装置
発明・考案の概要

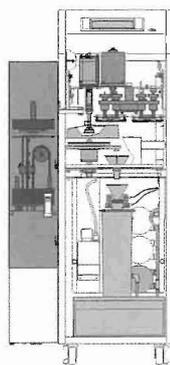
CDやDVD等の光ディスクは、内部に書かれた情報を、読み取り面側からレーザー光線を出して、その反射光を検出することにより読み取っていますが、読み取り面表面に傷が生じると、照射するレーザー光線あるいは反射光が傷で散乱若しくは遮蔽されるため読み取れなくなってしまう。しかし、内部の情報は何ら影響を受けていないため、生じた傷が消失するまで読み取り面を削り取り鏡面に磨くことにより、レーザー光線あるいは反射光が傷により散乱・遮蔽されることが無くなり正常に使用できるようになります。

このような修復装置において、効率よく短時間で、且つ、多数回修復できる装置を提供することを目的に当該技術を考案しました。

発明・考案の特徴

平坦な修復という課題を解決するには、研磨パッドが硬質で変形しなければ良いのですが、研磨パッドが硬いと微細なゴミや削りかすが研磨パッドと光ディスク間に入りディスクに傷をつけたり、研磨体とディスクの接触が阻害されるため研磨力が低下する等の不

都合がありました。この不都合を解決するため、一般的には3層構造の研磨パッドを4層構造とし、研磨体の番手によりクッションの変形量を調整する事により解決しました。この結果、サンドペーパーで磨くことにより修復時間が非常に早く、且つ、修復を繰り返しても、既定の平面度を維持できるようにになり、DVDの普及と共に、国内外のビデオレンタル店、米国の図書館などで高い評価を得ることができました。

エコマスター
EcoMaster2世代目全自動修復装置
The 2nd generation Fully Automatic
Optical Disc Repair Machine

有限会社タラチネケミカル

代表取締役 迫 正人

所在地：

〒899-3301

日置市吹上町中原2459-1

TEL：099-296-6877

URL：http://www.tarachine.jp



鹿児島県発明くふう展は、発明考案等の作品を広く県民から募集し、優秀な作品を表彰するとともに、その作品を一般公開することにより、県民の発明の奨励と発明考案等に対する関心を深め、創意工夫の高揚を図り、本県の産業振興と県民生活の向上に資することを目的として開催されるものです。

平成21年度は、日置市にある有限会社タラチネケミカルで考案された、**シラスを利用した研磨剤**が、「産業上その実績効果が著しく、地場産業の育成、発展に貢献するもの」との評価を受け、**鹿児島県知事賞**を受賞しました。審査員からは、「鹿児島産シラスバルーンを素材にして、異なる粒径を使用することで、従来難しかったガラス面にキズを付けることなく、水アカ、油膜を除去することを可能としている」「原料のほとんどがシラスバルーンであり、一部の増粘剤は天素系多糖類を使用するなど、環境や作業者に与える負担が小さい」とのコメントがありました。



シラスを利用した研磨剤
製品の特徴

これまで、ガラス面の水アカ、油膜を除去するためには、化学薬品（毒物、劇物）やガラス面の硬度より硬い素材の研磨剤を使用していたため、ガラス面にキズが付き易く、化学薬品ではガラス面を溶かしながら除去するために、使用回数に制限があり、また、人体にも環境にも悪影響をあたえてしまうという欠点があります。

同社製品は、鹿児島産のシラスバルーンを素材に選んでいきます。シラスバルーンの硬度は、ガラス面の硬度とほぼ同じであるため、粒径を大きくしてもまったくガラス面にキズを付けることなく水アカ、油膜をより簡単に除去す

ることが可能になりました。粒径の異なる3種類の素材を混ぜた事により、困難だった車両等のフロントガラス面の水アカ、油膜の除去をより安全にかつ簡単に出来るようになり、本製品により処理されたガラス面は親水性のため、ガラス面の水滴が全て流れ落ちてしまい、ガラス面に水アカが付きにくくなります。また、地球環境に優しいエコ製品でもあり、そのまま洗い流すことができます。

【使用前】

【使用后】



利用状況

鹿児島市交通局の市電、市バスやJR九州の在来線、新幹線車両の窓ガラスの清掃に採用されています。

このほか、鹿児島市内の路線バス運営企業、北海道の路線バス運営企業や有名ホテル、東京ディズニーランド内のホテルなど多くの企業等で採用されています。

実践！IT活用

ホームページ、ネットショップのよくある相談事例

よくある相談事例

（財）かごしま産業支援センターのEC（電子商取引）コーディネーター坂ノ上です。

平成21年5月からECコーディネーター設置事業による相談対応が始まり、「ネットショップを始めたい」、「ホームページで商品情報を発信したい」、「検索サイトで上位に表示されるようになりたい」など、さまざまな相談がありました。

Q ホームページを開設したいが何から始めて良いのかわからない

A ホームページの作成方法はいくつもありません。しかし、作る内容が決まらなければ、どの方法で作って良いか、検討することができません。最初に「何を作るのか？」を考えましょう。

「何をやるのか、内容を考えるのが難しい」と思われるかもしれ

ませんが、難しく考えなくても大丈夫です。ホームページは広告の一つであり、新聞の折り込みチラシや、会社のパンフレットを考えると同じです。お客様に何を訴えるのか、何を伝えたいのか、そのためにどんな文章にするのか、どの写真をどこに使うのか、ノートと鉛筆を手に考えてみてください。

ワンポイント

内容を考えるのが難しい場合、他社のホームページを見てください。10〜20社以上見ていると、「ここが真似をしたいな」、「こんなホームページはいやだな」と少しずつ構想が練れてきます。

Q ホームページを開設したいがワードやエクセルしか分からない

A スポーツ選手や芸能人が書いてある日記風のホームページを「ブログ」と言いますが、このブログを使って会社のホームページを作っている企業が

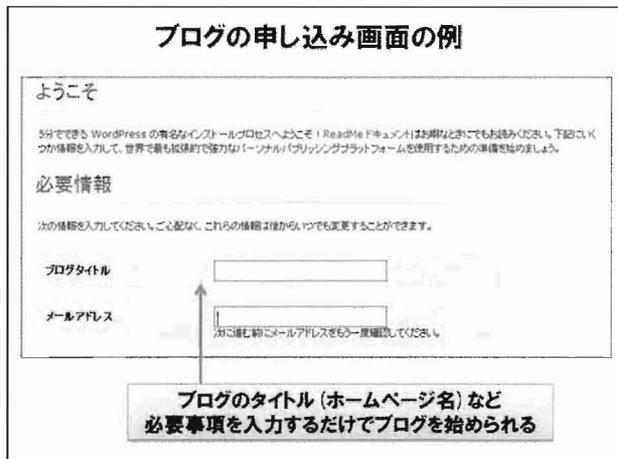
増えています。ブログは簡単にホームページを開始するために、個人のホームページを作成するのにも多く利用されています。

「ブログ」の始め方はとても簡単です。検索サイトで「ブログ」と検索すると、多くのブログ作成

サービスがあるので、好きな会社のサービスを選んで、ブログのタイトル（ホームページ名等）、必要な事項をインターネット上で入力することができます。すぐに使うことができます。ホームページへの情報の登録の仕方も、「ページの題名」「本文」を書くだけです。

ワンポイント

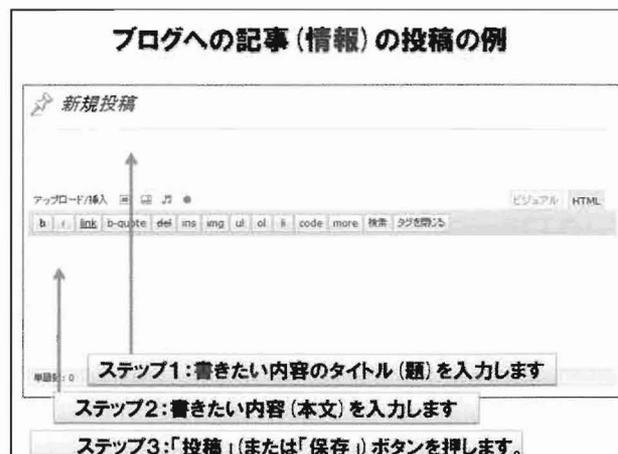
ブログは無料で作成できるサービスもあります。まずは練習として始めてみましょう！



Q ネットショップを始めたいが注文対応や決済方法はどうか？

A ネットショップを始めたら、メールを素早く読み書きできて、24時間誰かが対応に追われ、クレジットや銀行振込の確認をしなければならぬ、という必要はありません。

それらはネットショップの方法の一つであって、ホームページに電話番号を記載し、「注文の受付は電話のみ。決済は運送会社の代引きのみ」という方法でもかまわないのです。



注文方法や決済手段によって受注件数は変わってきますし、商品やお客様の特性によってどの方法にするのか検討しなければなりません。が、会社の方針や業務にあわせた方法で始めるのも一つの方法です。

ワンポイント

注文方法や決済方法はどうかっているのか、問い合わせをしたい場合はどうしたらよいか、お客様にわかりやすいように表示しましょう。

Q ホームページが検索されない

A せっかくホームページやネットショップを作成しても、検索サイトで表示されないことがあります。これにはいくつか理由が考えられます。

- ① ホームページに会社名や住所が書いていない
 - ② 会社名や住所が文字として書いていない(絵を使って書いている)
 - ③ 検索サイトに登録されていない
 - ④ 検索されているが下位表示となっていない
- ①②であれば、普通の文字で会社名や住所を記載してください。
- ③の可能性があれば、Yahoo!「サイトエクスプローラー」やGoogle「ウェブマスターセントラル」で調べてみてください。

ホームページの文字について

**かごしま産業支援センター
ホームページ**

お知らせ

12月9日ITセミナー奄美大島地区を開催します。

NG:

「かごしま」で検索→検索されない
(絵で描いてある文字はコンピュータは理解できない)

OK:

「奄美大島」で検索→検索される
(普通の文字はコンピュータは理解できる)

検索例

「あまみ」で検索 → 検索されない
(※ひらがな表記で「あまみ」とは書かれていないため検索されない)

①②③のいずれにも当てはまらない場合、④の可能性もあります。検索結果を上位に表示する方法、検索サイトに適したホームページの作り方のことをSEO(検索エンジン最適化)といいます。これらは専門的な知識が必要な場合もありますが、次の3点に注意してホームページを作成してください。

- ・ 情報量、文章量が多いこと
- ・ 毎日(毎週)更新を行うこと
- ・ 他のホームページとの相互リンクを多く行う事

ワンポイント 日記(業務報告)を毎日更新するようなブログは検索結果が上位に表示されやすくなります。

Q 制作業者に依頼するときの注意点は?

A ホームページを制作業者に依頼するときの注意点は、建築士に家を建ててもらおう過程と似ています。

- ・ 建築士まかせにせず、どのような家にしたいのか自分たちでも考えること(自分の思い描く内容を伝えられるようにすること)
- ・ 簡単な家のメンテナンスは自分たちで行うこと(簡単な情報の更新は行えるようにすること)
- ・ 家の設計図、鍵は自分たちで管理すること(納品物、パスワードは自分たちで管理すること)

検索サイト登録確認ページのURL

Yahoo!「サイトエクスプローラー」
(<http://siteexplorer.search.yahoo.co.jp/>)

Google「ウェブマスターセントラル」
(<http://www.google.com/webmasters/>)

☆筆者紹介☆

坂ノ上 守夫 (Sakanoue Morio)

(財)かごしま産業支援センター
E C(電子商取引)コーディネーター

TEL: 099-219-1275
E-MAIL: info@po.kric.or.jp



ワンポイント

ホームページは会社の店舗であり、広告塔です。制作会社は作ることが仕事であって、どのように運営をしていくのかは自分たちの仕事です。



【発表する小迎(こむかい)社長】

イキイキと仕事をするためにアニマルセラピーを導入した健康維持サポート事業

有限会社まうるーる

代表取締役社長 小迎 和代

鹿児島市小松原2丁目17-23

TEL:099-266-6019 FAX:099-266-6019

E-mail: snowy@polka.ocn.ne.jp

発表内容

〈企業紹介〉

平成14年にかごしま産業支援センターの「かごしま起業家応援プログラム」の助成金をいただき、犬1頭、猫5頭を相棒に鹿児島市小松原に有限会社まうるーるを創業しました。

医療・福祉施設と契約のもと定期的なアニマルセラピーの実施や講演等を行っています。

〈商品開発のきっかけ〉

百年に1度といわれる不況から脱出傾向にあるといわれてはいませんが、今年年末にはこれまでにない失業率が予想されています。

リストラや派遣休止が相次ぎ、一方では残った少ない人数で過酷な労働を強いられ、その結果、社内の人間関係にも大きな歪みが生じ、自殺やうつ病は増加の一途をたどっています。

そこで、これまで医療・福祉施設を中心に行ってきたアニマルセラピーを企業や事業所に導入していただければと考えました。

身体的にも精神的にも健康に働くことができれば、それはその家族や社会にも大きな反響をもたらすはずです。



【セラピーの様子】

〈商品の特徴〉

身体面の健康維持サポート事業とアニマルセラピーを用いた心のケアの2つのサービスを、看護師資格を有する(看護学校の教員経験)セラピストが提供します。

- ①健康管理・健康相談
- ・食事療法や生活習慣病予防サポート
- ・健康について気になることへの相談など
- ②アニマルセラピー導入による心のケア
- ・ストレスへの対応
- ・社内コミュニケーションの円滑化をサポート

発表後の成果・感想

社会全体に必要なサービスとして多くの方にご理解をいただきました。

しかし、実施していくためにはまだまだ多くの改善や検討事項があることを実感しています。

今後の展望

ターゲットとなる企業は多数ありますが、これまでにない事業のため導入するまでには多くの困難が予想されます。

しかし、数年前には100人に3人、または50人に1人といわれていたうつ病は今では15人に1人といわれています。さらにうつ傾向で予備軍に入る人までをも考えるとかなりの数になることは簡単に想像できます。したがって、市場規模は未知数といって過言ではありません。

だからこそ、ご指摘を受けたことや貴重なご意見を心に、今一度まうるーるのアニマルセラピーの質を高め、今回発表した事業がより良いサービスとなるよう努力したいと考えます。



【セラピー犬(修行中)】

研究開発の現場

鹿児島女子短期大学

茶の【漬物】考案

黒の食文化に新顔

食べるお茶、という食文化を提唱している私は、茶の葉を使った漬物風の食品「黒茶」を考案した。鹿児島県産の二番茶を30秒蒸して、手もみして酵母を加えて嫌気状態で一年間漬け込んで完成した。



鹿児島市高麗町6-9
鹿児島女子短期大学食物栄養学専攻
名誉教授 福司山 エツ子

鹿児島県産の食材で味付けされた黒茶はご飯のおかずや焼酎、ビールつまみにも合う。黒牛、黒豚、黒砂糖、黒酢など鹿児島が全国に誇る【黒の食文化】に、新たな一品を加えたかった。

きっかけは、鹿児島大学で学ぶミャンマーの留学生から頂いた同国の伝統的発酵食品・食べる茶「ラペソー」。発酵食品で微生物が胃腸によく、ビタミンやアミノ酸、微量のギャバも含有、健康的な食品である。

鹿児島は摘採期が3〜10月と長く気候も発酵に適していることから、2〜3番茶で食べる茶のことを思い立った。5年前、現地に出向いて茶の生産状態や気候風土を調べ、製造法や食べ方、市場での販売状況等を調査した。

鹿児島市内の食品研究所や独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所枕崎茶業研究拠点と連携し製造に着手した。茶の種類や摘採期など研究して完成した。

地産地消を意識し、枕崎のかつお節粉末やさつま町の南高梅肉、輝北のごま油などを加え、日本人の食感に合わせて味を調えた。

発酵が進むほど黒くなることから「黒茶」と名付けた。黒茶の盛り合わせに鹿児島県産の落花生、シラス干し、干し海老、ごま、に



黒茶と鹿児島の食材

んにくなどを添え、噛むことの大切さを考えた一品にしました。

(特許出願中)
新しい茶葉の消費拡大につながり、県内企業から問い合わせがきている。

黒茶と健康

茶の葉を食べつくし、食物繊維がたっぷり、発酵食品なのでプロバイオティクス微生物が活かされて胃腸にも良い。そして発酵中に生成されたビタミンやアミノ酸も望める。さらに一緒に食べる盛り合わせ物の影響もある。これらの物は食感の調和としても欠かせない。黒茶の柔らかさに揚げにんにくのぱりぱり、落花生、ごまなどを合わせ食べることによって栄養

満点になる。茶にない栄養素を与えてくれる。

黒茶は味にこだわりのある日本人でも初対面で「一口惚れ」、試食した人の9割が「好き」とはつきりその場で言う。そんな良い食品を是非鹿児島から全国へ普及させたい。鹿児島は全国二位のお茶の産地であり、気候も黒茶発酵に適している。価格の高い一番茶でなく、割安の二番茶で作れるのがメリット、二番茶、三番茶の付加価値になる。なにしろごま、ピーナツ、大豆、干しえび、しらす干しなど盛り合わせ材料のすべてが鹿児島産で揃っている。

愛称「黒茶」と名づけて鹿児島県にもう一品の「黒」が備えられることを夢みている。



黒茶の調理例

企業経営に”知的財産”を有効にご活用ください。

優れた発明や多くの人に知られている商品名は、それだけでかけがえのない貴重な財産です。
 発明協会では、企業・ベンチャー企業の方々を対象に、特許や商標に関する様々な事業を行っています。お気軽にお問い合わせください。

●産業財産権（無料発明）相談会の実施

特許、実用新案、意匠、商標に関する相談に応じます。（事前予約制）

<相談会日程>

日 程		会 場
1月の予定		
6日(水)	13:30~16:30	鹿児島県市町村自治会館501号室
16日(土)	9:00~12:00	鹿児島県市町村自治会館502号室
19日(火)	13:30~16:30	薩摩川内市 川内文化ホール
20日(水)	13:30~16:30	鹿児島県市町村自治会館502号室
27日(水)	13:30~16:30	鹿児島県市町村自治会館502号室



※2月、3月も相談会を予定しております。日程については、お問い合わせください。
 ※講師・会場等は、都合により、変更になる場合があります。

●中小企業への訪問型相談事業の実施

直接、中小企業（個人事業含む）を訪問し、知財の取得から活用までの全般にわたる無料相談

○産業財産権相談会、企業訪問型相談事業に関してのお申し込み・お問い合わせは・・・
 (社)発明協会鹿児島県支部、または下記HPまでアクセスしてください。
 ☆ひらめ木HP <http://www.hirameki.jiii.or.jp/>
 ☆モバイル版 <http://www.hirameki.jiii.or.jp/keitai>
 (右のQRコードで読みとることもできます。)



●その他の活動紹介

- ・全国発明表彰・地方発明表彰への推薦

<平成21年度受賞県内企業>

- ☆中小企業庁長官奨励賞 株式会社エルム（南さつま市）
- ☆発明協会県支部長賞 有限会社瀬戸口瓦工場（さつま町）
- ☆発明奨励賞 株式会社小田豊商会（鹿児島市）

- ・鹿児島県発明くふう展の開催

今年も10/31（土）、11/1（日）に鹿児島市立科学館にて開催

一般部門にて、有限会社タラチネケミカル（日置市）が鹿児島県知事賞を受賞しました。

- ・鹿児島少年少女発明クラブの運営

創造性豊かな人間形成を図ることを目的に、児童を対象に毎月2回、工作活動を行っています。



第57回鹿児島県発明くふう展受賞者

☆発明協会会員 随時募集中☆

当支部が実施する事業（展示会、講演会）並びに協会本部事業について、機関誌、ダイレクトメールによる優先的案内、優先参加ができます。

○詳しい内容を知りたい方は、(社)発明協会鹿児島県支部までご連絡ください。

問い合わせ先：社団法人発明協会 鹿児島県支部

住所：〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

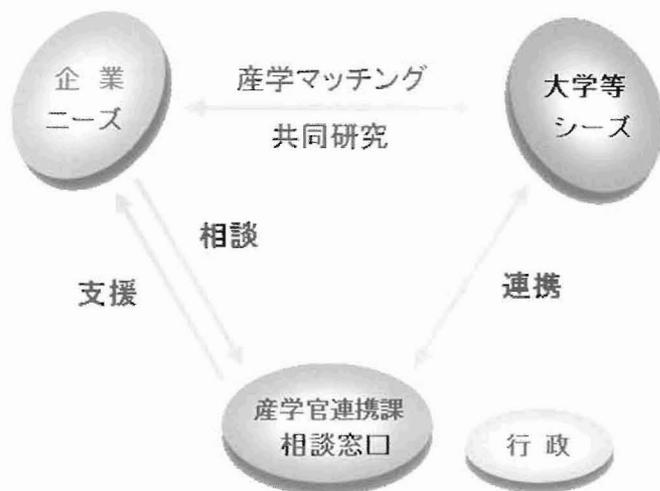
鹿児島県商工労働部産業立地課内

TEL：099-286-2973 FAX：099-286-5578

活用ください！ 産学官連携課

産学官連携課では、大学等の研究機関と共同研究を行いたい、研究機関の研究シーズを生かし事業を進めたい、研究開発助成を受けたいと考えている中小企業者等のニーズに応えるため、産・学・官の連携強化を図るとともに、研究開発等の支援を行っています。
お気軽にご相談ください。

●産学官共同研究のコーディネート



大学等研究機関の技術シーズや企業ニーズの発掘、収集、提供により、双方のマッチングを図ります。

産学官連携による、国や県の公募型共同研究をコーディネートします。

- ・ アドバイスを受けたい、専門の先生を紹介して欲しい等のご相談に応じます。
- ・ 研究会活動を支援します。



●研究開発に要する経費の支援

- ・ 新技術・新製品開発に要する経費の一部を助成します。
- ・ 国や県、財団等が公募する研究開発の競争資金獲得のための支援を行います。

●かごしま産業技術賞の表彰

- ・ 3年に一度、県内の企業が開発した優れた新技術・新製品を表彰します。

●バイオフィォーラムの開催

- ・ バイオテクノロジー関連産業の創出・育成を図るため、フォーラムを毎年開催しています。

問い合わせ先

(財)かごしま産業支援センター 産学官連携課

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40

(鹿児島大学産学官連携推進機構)

電話: 099-214-4770 FAX: 099-214-4771

E-mail: sangaku@po.kric.or.jp

受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。今月は、下記の企業から受注の申し込みがきておりますので、あっせんの希望がありましたら御連絡ください。

また、センターのホームページでも御覧いただけます。（URL：<http://www.kric.or.jp>）

◆受注情報

No.	所在地	資本金 (万円)	従業員数 (人)	受注希望品目 (加工内容)	主要機械設備
1	薩摩川内市	300	17	治工具、精密部品 プレス・モールド金型用 プレート・ダイ・パンチ各種	ワイヤーカット放電加工機、放電加工機 NCプロファイル研削盤、NCフライス盤 旋盤、コンターマシン、大型平面研削盤 プレス30t、CAD/CAM、工具顕微鏡

◆お問い合わせ先 (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課
TEL:099-219-1274 FAX:099-219-1279

下請代金支払遅延等防止法（下請法）クイズ

【問題】

次の行為は、それぞれ下請法上の問題となるでしょうか。

- ① 下請代金を手形サイトが120日の手形で支払うことにしている場合、下請代金の支払期日に実際には手形を下請事業者に交付しないで、手形を交付した場合の満期日に現金で支払うこと。
- ② 物品の製造を委託している親事業者が、納品された物品の受入検査を行わず、かつ、下請事業者に対して検査を委任していない場合に、受領後に不良品を発見したとして下請事業者に返品すること。
- ③ 金型の製造を委託している親事業者が、下請事業者からその作成した金型の図面や加工データ等を無償で提出させること。

【解説】

① 問題となる。

いわゆる「期日現金払」を下請取引に採用した場合、支払期日内に下請代金が支払われておらず問題となります。親事業者は、給付を受領した日から60日以内で、かつ、できる限り短い期間内に支払期日を定めなければならない、その定めた支払期日に下請代金を支払わなければならない。（下請代金の支払遅延の禁止（下請法第4条第1項第2号））

② 問題となる。

受入検査を自社で行わず、かつ、下請事業者に対して委任していない場合は、親事業者は全量を合格品とみなしていることになり、返品することは問題となります。（返品の禁止（第4条第1項第4号））

③ 問題となる。

金型の製造委託を行った際に、3条書面の給付の内容に金型の図面が含まれていない場合は、金型の納入に併せて当該図面を納品させることは問題となります。なお、金型と併せて当該図面を提供させたいときは、あらかじめ給付の内容に「図面を含む」旨を明確にし、当該図面の代金も含んだ対価を定めるか、又は別に対価を支払い購入することとなります。

（不当な経済上の利益の提供要請の禁止（下請法第4条第2項第3号））

○下請法の相談はこちらに ⇒ 公正取引委員会事務総局 九州事務所 下請課
TEL:092-431-6032 <http://www.jftc.go.jp/>

Information

1 鹿児島県取引情報交換面談会の御案内 ～新規取引先の開拓に御活用ください～

当センターでは、鹿児島県内外の発注企業と県内受注企業が一堂に会し、取引及び技術に関する情報交換を行うビジネスチャンスのもととして、「鹿児島県取引情報交換面談会」を下記のとおり開催します。なお、面談会の詳細及び参加申込みについては、当センターホームページに掲載いたしますので、御覧の上、積極的な御参加をお願いいたします。

(開催概要)

- ◆日時 : 平成22年2月3日(水) 13:30～19:00
- ◆場所 : ホテルウェルビューかごしま
鹿児島市与次郎2丁目4番25号 Tel: 099-206-3838
- ◆対象業種 : 一般機械、金属、電気・電子関連企業など
- ◆参加企業数 : 発注企業27社、受注企業50社(予定)
- ◆お問合せ先 : (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課 担当: 家村
TEL: 099-219-1274 FAX: 099-219-1279
URL: http://www.kric.or.jp/s_business/21mendankai.html



<会場風景>



<面談風景>



<製品展示コーナー>

2 ビジネス・マッチング・ステーションの御紹介 ～無料で利用できる取引支援サイト～

ビジネス・マッチング・ステーションは、主に製造業とサービス業の方が新規取引先を探す手段として御利用いただける登録企業数21,000社以上の取引受発注支援サイトです。当サイトは、公的機関が運営しており登録及び利用は全て無料ですので、是非とも御活用ください。

(<http://biz-match-station.zenkyo.or.jp/>)

◆ビジネス・マッチング・ステーションを利用するメリット

1. 自社情報をPRすることにより取引先を拡大することができます!
2. 発注企業への取引希望意思の連絡が簡単にできます!
3. 自社の被参照件数や案件検索数等の参考情報を利用できます!
4. パスワードは自社で変更自由、もちろんセキュリティ対策は万全です!



<システムトップ画面>



<企業情報検索>



<案件情報検索>

◆お問合せ先 財団法人全国中小企業取引振興協会

TEL: 03-5541-6688 (平日9:00～17:00)

上野原ビジネスプラザ・インキュベーターの御案内

当センターの上野原ビジネスプラザでは、起業家や新たな事業分野への展開を目指す中小企業の方々に、24時間無料でインターネット接続サービスが利用できる快適で低廉な料金のインキュベーターを用意し、皆様の入居をお待ちしています。

・インキュベーター 22室（平成21年12月1日現在6室が空室）

面積：31.5㎡～111.15㎡

月額使用料：49,612円～131,853円（敷金不要）

なお、創業5年未満の企業については、使用料の減免があります。

所在地：霧島市国分上野原テクノパーク4-30



■問合せ先 ■ (財) かがしま産業支援センター 上野原ビジネスプラザ

〒899-4317 霧島市国分上野原テクノパーク4-30

TEL : 0995-45-3511 FAX : 0995-48-5270 E-mail : gyoumu@po.kric.or.jp

「かがしま企業情報」への掲載の御案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かがしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業に掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽に御登録ください。



■問合せ先 ■ (財) かがしま産業支援センター 情報支援課

TEL : 099-219-1275 FAX : 099-219-1279 E-mail : info@po.kric.or.jp

センターホームページ「KISCネット21」の御案内

センターのホームページを御覧になったことがありますか？

こんなメニューがあります。

- ・センター・関連機関からのお知らせ
- ・ニーズ別に制度や業務相談窓口の紹介
- ・センターの調査物・刊行物の紹介
- ・ビジネスに役立つお勧めサイト など

ぜひ、御覧ください！！ URL: <http://www.kric.or.jp/>



■「情報KISC」の今月の表紙■

表紙写真は、「ばら「焼酎」の開発、製造及び「かのや ばら園」を活用した需要開拓による地域振興」で、国の地域産業資源活用計画の認定を受けた

大海酒造協業組合

代表理事 北山 幸男 さんです。

所在地：鹿屋市白崎町21-1

TEL:0994-44-2190

情報KISC 12月号

発行者：財団法人かがしま産業支援センター

〒892-0821 鹿屋市名山町9-1 鹿屋県産業会館2F

TEL 099-219-1270 (代表)

FAX 099-219-1279

E-mail kisc@po.kric.or.jp

URL <http://www.kric.or.jp>